衛星画像データ活用提案

羽生田鉄工所、専用サイト開設

稲生育や耕作放棄地把握

計測サービス連携

圧力容器製造の羽生田鉄工所（長野市）は人工衛星で撮影した画像を使ったサービスの販売など新たな宇宙関連事業に乗り出した。画像データを活用する際に必要な地上でのデータ計測などのサービスも併せて紹介する専用サイトも立ち上げた。同社は人工衛星の部品製造を手掛けており、宇宙の産業利用をさらに普及させて関連事業の拡大につなげる。

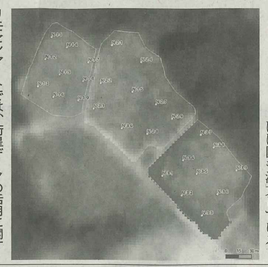
新サイトの「リモセンマート」を4月に開設した。サイトでは人工衛星からの画像データを活用する様々なサービスを取り上げている。稲の生育状況を把握するシステムや、耕作放棄地の特定に役立つアプリケーションを紹介。羽生田鉄工所は代理店として一連のサービスを販売する。

衛星から撮影した地上の画像を有効に活用するには、比較対象として地上でのデータ収集が必要になる。同社は土壌の水分含有量や果樹の糖度・酸度に関する測定をはじめ、ドローンを使った撮影といったサービスを提供できるこれらを含め、サイトでは同社が手掛ける10種類の計測サービスを紹介しており、利用者が衛星データを使用する際などに併せて活用してもらう考えだ。

宇宙関連の事業として、同社は人工衛星で使う部品などを製造している。衛星データの利用については、2019年に内閣府の委託事業で実証実験も実施した。ワイン用ブドウの効率的な育成のために衛星データを活用した実績がある。

国内の宇宙産業の発展には国も注力している。内閣府は17年に宇宙関連産業の振興策として「宇宙産業ビジョン2030」を策定した。衛星データの利用促進のほか、衛星やロケット開発の推進などで、国内の宇宙産業の市場規模（現状は約1・2兆円）を30年代の早期に倍増させることを目指す。

羽生田鉄工所の羽生田豪大代表取締役は「衛星データの利用が広がれば、当社の宇宙事業のビジネスチャンスも拡大する」と強調している。新たなサイトを通じて宇宙関連ビジネスの裾野を広げながら、自社の事業拡大につなげていく方針だ。


リモセンマートでは、衛星データの活用に関するサービスを紹介する（写真上）。衛星データを使い、ブドウの生育状況のマップを作成した

関東経産局と産業振興で連携

長岡市

新潟県長岡市は関経済産業局と地域産業振興で包括的連携する。26日に覚書を結ぶ。地域産業のDX（デジタルトランスフォーメーション）、市内企業のデジタル化の促進や、市の中心市街地再開発事業である米百俵プレイスを拠点にした企業移転などで協力する。関東経済産業局が自治体と産業振興・経済活性化の包括的連携で覚書を締結するのは初めてという。

市内にある学生や企業の交流施設「NaDeC BASE」（ナデックベース）で26日に覚書締結式を開く。同所などを活用した人材連携も進めており、営業は継続する。経済活性化につなげたい考えだ。

野辺山観光の破産手続き決定

ゴルフ場預託金管理

ゴルフ場「清里アーリーバードゴルフクラブ」（長野県南牧村）の預託金管理を手掛ける野辺山観光（同）が、16日に東京地裁から破産手続きの開始決定を受けたことがわかった。負債総額は約70億6000万円で、そのほとんどが預託金。同ゴルフ場は別会社が運営しており、営業は継続する。

共同研究講座を順天堂大に開設

ブルボン

ブルボンは順天堂大学との共同研究講座「先進老化制御学講座」を同大学内に開設した。共同研究を通じ、加齢に伴う疾患に対する新たな抗老化治療や予防法のほか、食品を利用したアンチエイジング素材の開発を目指す。

順天堂大学大学院医学研究科に設置した。期間は4月から2024年3月まで。同研究科の南野徹教授を代表者として順天堂大3人、ブルボン1人の計4人体制で研究を進める。

「ろくもん」のテーマ曲制作

しなの鉄道

第三セクターのしなの鉄道（長野県上田市）は22日、観光列車「ろくもん」のテーマ曲を制作したと発表した。ヴァイオリンとチェロ、ピアノの3重奏で、ろくもんの名前に由来する戦国武将の真田氏の力強さや、沿線の雄大な自然を表現した。テーマ曲は5月から車内のBGMとして活用する予定。同社は「華やかで楽しくなる音の演奏が加わったので、聞きながら旅を楽しんでほしい」と話している。

佐渡汽船が「御船印」

御朱印の船版 新潟4港で販売

コシヒカリ紙を使用した

佐渡汽船は23日から、神社仏閣巡りで集められる御朱印の船版にあたる「御船印」を発売する。旅客船・観光船の利用促進や発着地の活性化を目的に、北海道から鹿児島まで全国46船会社が参加する「御船印めぐりプロジェクト」の一環。佐渡船協会の公認プロジェクトで、今後も参加社は増える予定だという。

船版には、コシヒカリの稲わらをすき込んだコシヒカリ紙を使用した。御船印は1枚300円で、御船印帳は1冊2000円で取り扱う。新潟三重奏で、ろくもんの名前に由来する戦国武将の真田氏の力強さや、沿線の雄大な自然を表現した。テーマ曲は5月から車内のBGMとして活用する予定。同社は「華やかで楽しくなる音の演奏が加わったので、聞きながら旅を楽しんでほしい」と話している。

長野の景況感、改善

1～3月 製造業がけん引

民間調べ

長野経済研究所（長野市）は2021年1～3月期の県内企業の業況アンケート結果をまとめた。全産業の業況判断指数（DI）はマイナス20・6で、20年10～12月期から5・9ポイント上昇した。改善は3期連続。

製造業はマイナス7・7で、17・9ポイントの大幅な上昇となった。IT関連や自動車関連の需要増を背景に、電子部品などで景況感が改善した。一方、非製造業はマイナス31・4で、6ポイント下落した。政府の観光需要喚起策「Go To トラベル」の停止などで、観光関連の景況感が大きく悪化した。

4～6月期の見通しは、全産業がマイナス21・2と、0・6ポイントの下落となった。

製造業は横ばいのマイナス7・7となる一方、非製造業は新型コロナウイルスの感染再拡大への懸念などから、マイナス32・8と1・1ポイントの下落を見込む。

信越とっておき

「越後バナーナ」 シモダ産業

雪国育ち、上品な甘さ

産廃処理の排熱を再利用し、雪国・新潟で栽培された「越後バナーナ」

≪チェックポイント≫サイズにより1本または2本で販売。新潟市の新潟伊勢丹をはじめ、柏崎市などの指定店舗で購入できる。価格は各店舗で異なる。バナナに関する問い合わせは☎0257・23・5240。

産業資材製造・販売のシモダ産業（新潟県柏崎市）が2020年8月に発売した「越後バナーナ」は、グロスミッチェルという品種で、上品な甘さや香り高さに加え、皮ごと食べられる特徴もある。産業廃棄物を処理する際の排熱を利用して育てた雪国・新潟生まれの高級バナナだ。

食べてみると、蜜が詰まったような甘さが口全体に広がる。実は小ぶりだが食べ応えは十分だ。成熟するに伴って「シュガースポット」という黒い斑点が皮に出てきたら食べごろのサイン。甘さの秘密は樹上で限界まで熟成させることにある。青い実のままで収穫し、流通の途中で熟成させる輸入品のバナナと違い、濃厚な甘みになるという。

霜田彰社長が旅行先のフィリピンで食べたバナナの「衝撃的な甘さが忘れられなかった」ことが栽培を始めるきっかけになった。栽培に取りかかったのは2018年。温暖な気候で育つバナナを寒冷な新潟で育てるために、産廃処理の排熱に目をつけた。排熱で水を温め、ビニールハウスの温度調整に利用する。冬でもハウスをセ氏24度と適切な温度に維持できる。

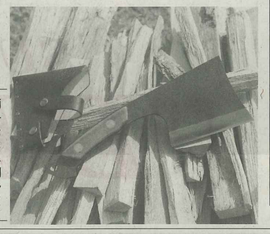
発売後、約1万5000本を出荷した。新潟県内での売れ行きが好調で、霜田真紀子常務は「当初は販路を開拓できるか心配だったが、今は県外に出したくても、出せない状況」と話す。現在はハウス2棟で約200株を栽培している。

実が小さいなど規格外のバナナは、地元の菓子店でドーナツやフルーツサンドなどに加工し販売する。資源の有効活用例として「小中学生がSDGs（持続可能な開発目標）を学ぶ題材として役立てたい」（霜田常務）としている。

刃を厚く、木割りやすく

馬場長金物が手斧

アウトドア向け


簡単に薪を割れるように刃部分などを工夫した

馬場長金物（新潟県三条市）は新たなアウトドア向けの手斧（おの）を発売した。刃の先端部に重心を置くなどし、女性や子どもでも、木に打ち込んだ斧をたたくことで薪割りができるようにした。新型コロナウイルスの影響で好調なアウトドア需要をさらに取り込みたい考えだ。

販売するのは同社が展開する「多喜火」シリーズの第2弾。木を割りやすくするために、刃の厚みを従来の約2倍の9㍉にしたり、たたいても折れにくい「フルタング構造」にしたりした。斧をたたいて木を割ることで、振り下ろしによるけがの危険性も低くなるという。

15日から同社のホームページで販売している。収納用の牛革ケース付きで、税込み1万3200円。第3弾となる商品の発売も予定している。

株式会社 本久

長野の景況感、改善

1～3月 製造業がけん引

民間調べ

長野経済研究所（長野市）は2021年1～3月期の県内企業の業況アンケート結果をまとめた。全産業の業況判断指数（DI）はマイナス20・6で、20年10～12月期から5・9ポイント上昇した。改善は3期連続。

製造業はマイナス7・7で、17・9ポイントの大幅な上昇となった。IT関連や自動車関連の需要増を背景に、電子部品などで景況感が改善した。一方、非製造業はマイナス31・4で、6ポイント下落した。政府の観光需要喚起策「Go To トラベル」の停止などで、観光関連の景況感が大きく悪化した。

4～6月期の見通しは、全産業がマイナス21・2と、0・6ポイントの下落となった。

製造業は横ばいのマイナス7・7となる一方、非製造業は新型コロナウイルスの感染再拡大への懸念などから、マイナス32・8と1・1ポイントの下落を見込む。

中小企業の情報資源活用アドバイザー
いとう 長野 検索
株式会社いとう

地域情報ヘッドライン

日経電子版紙面ビューアーから

東北	ゼンシン、障害児サッカー教室ＦＣ化
静岡	富士山麓で養殖したニジマスの干物
中部	中部の大卒採用回復、来春6.5%増
北陸	「ムヒ」の池田模範堂、通年商品に力
四国	穴吹ハウジング、健康経営需要開拓
九州	西部ガス、福岡で住宅開発に参画

▶朝刊・夕刊→地域経済（有料会員向け）

茨城県、PCR検査で宿泊割引

茨城県は22日、新型コロナウイルス下での観光支援のため、PCR検査などを受けた人の宿泊料金を割り引く「いば旅あんしん割事業」を始めると発表した。県民の県内旅行に限定し、宿泊料金が1万円以上の場合は1人1泊あたり一律1万円、6千円以上1万円未満なら6千円を補助する。

4月下旬から予約を始め、大型連休明けから5月末まで実施する。旅行会社や宿泊施設への予約申し込み後、旅行前の1週間のうちにPCR検査を受ける。検査費用は自己負担。

都・埼玉県職員、オフィス相互利用

東京都と埼玉県は職員がテレワークする際に互いのオフィスを利用できるようにする。利用時間や人数などルールを定め、5月中に始める。自宅に近いオフィスで効率的に働けるようにするとともに、職員間の交流を促す。都は新宿にある都庁内のフリーアドレス制にしているフロア、埼玉県は本庁舎などの県の施設を中心にさいたま市や所沢市などにある計9カ所を提供する。

「ヨコハマ・エア・キャビン」開業

横浜市のJR桜木町駅と臨海部を結ぶロープウエー「ヨコハマ・エア・キャビン」が22日午前、開業した。同駅から横浜赤レンガ倉庫など観光スポットへのアクセスが改善する。市は横浜を空中散歩できる新たな観光資源として期待している。

遊園地「よこはまコスモワールド」を手掛ける泉陽興業（大阪市）が運営する。同社によると、都市部に常設される循環式ロープウエーは国内初という。長さは片道約630㍍で、移動時間は約5分。高さは最高地点で地上40㍍で、全面ガラス張りの8人乗りのゴンドラ内から臨海部の景色を楽しむことができる。

三菱ホームエレベーター スイ～とホーム
長野三菱電機機器販売(株)
本社 松本市白板1－7－5
TEL 0263-32-6200
FAX 0263-32-6006
(松本・長野・上田・諏訪・伊那)
URL:http://www.naganomelco.co.jp

リモートワーク対応 509動画
新しい“人材育成”のカタチ
課長塾オンデマンド https://nkbp.jp/kodsb1
■料金：1ID 1月あたり5,500円(税込) ※ご契約期間は半年以上、5 IDより承ります。
■研修ジャンル：22種類(DX、ダイバーシティ、経営、スキルアップ…など) 日経BP 東京都港区虎ノ門4-3-12
＼いつでも どこでも 学ぶ機会を／
日経ビジネス 課長塾 ON DEMAND

有機農業を応援する農業機械
DELICA
株式会社デリカ
代表取締役社長 金子孝彦
松本市大字和田5511-11 ☎0263-48-1184

農学部と連携・協力し、地域産業・人材育成・保安・環境保全に取り組みます。
南箕輪村 MINAMIMINOWA VILLAGE

一般社団法人
21世紀の農業を創造する研究開発

広告 企画・制作/エム・プランニング ☎026-268-0166代
～がんばろう信州 2021～
信州大学農学部
上伊那郡南箕輪村8304
食と農のフロンティアを切り拓く

NEVER FOREST
いまだかつてない森
村と森、人と森、営みと自然。
森とともに生きていくと決めた、私たちがめざす理想。
根羽村

いつもお客様の笑顔とともに
ニシザワ食彩館
信大前食彩館
上伊那郡南箕輪村8304-158
☎0265-73-2166代

新潟支局 025-222-7547
長野支局 026-232-2141
松本支局 0263-36-3007